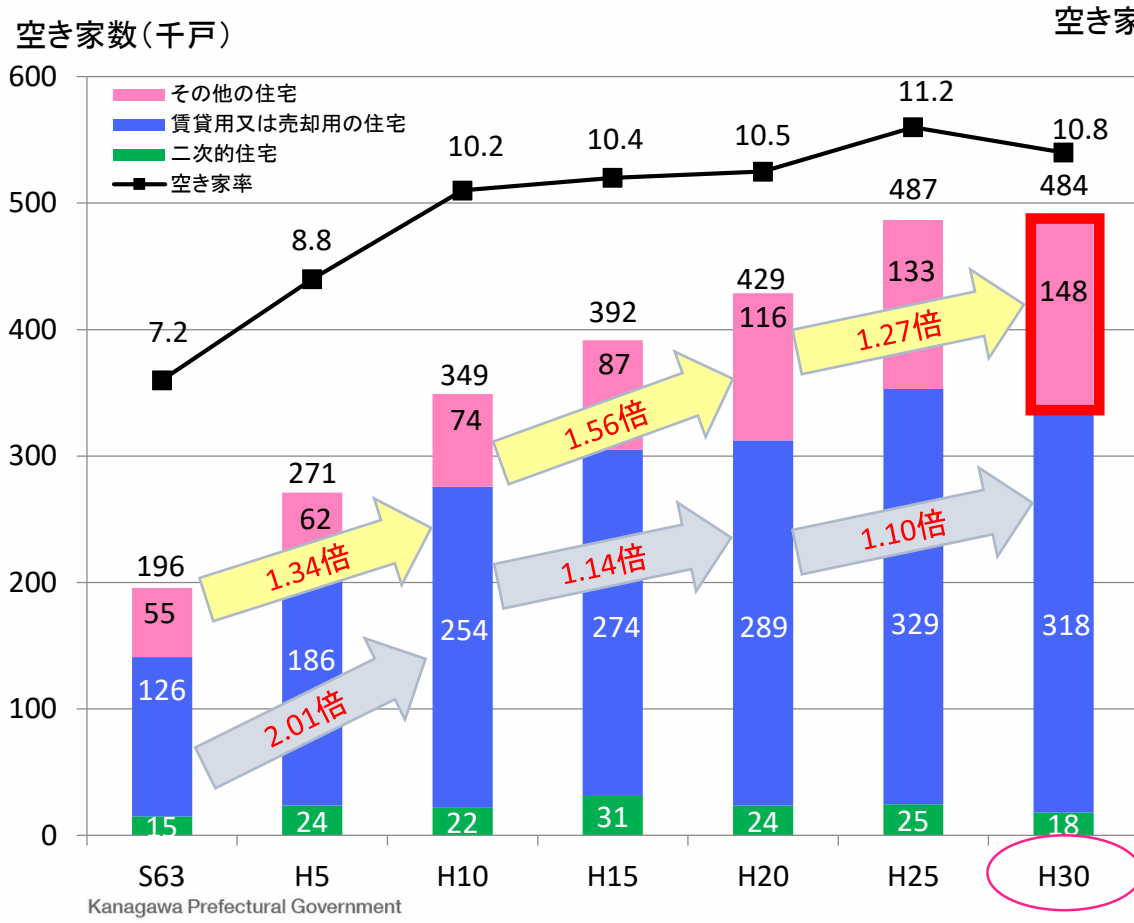
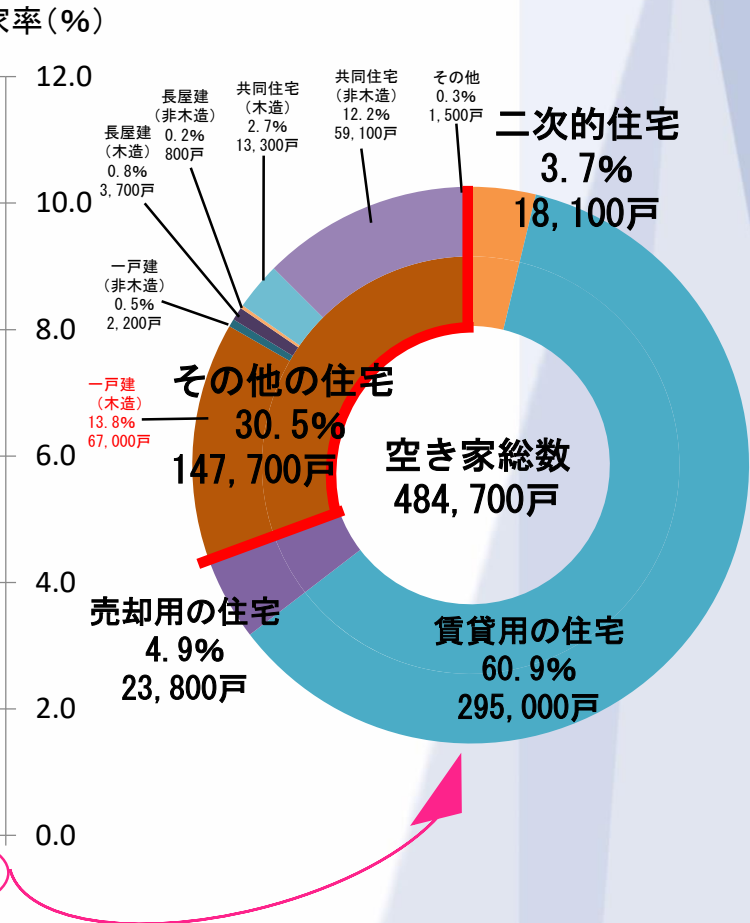


○神奈川県の空き家の戸数は、約48万戸で、全国で3番目の多さであり、今後一層増加することが懸念されている。
○なかでも「その他の住宅」の増加率が增大している。

【神奈川県内の空き家の数と空き家率の推移】



【空き家の種類別内訳】



(総務省 平成30年住宅・土地統計調査結果)

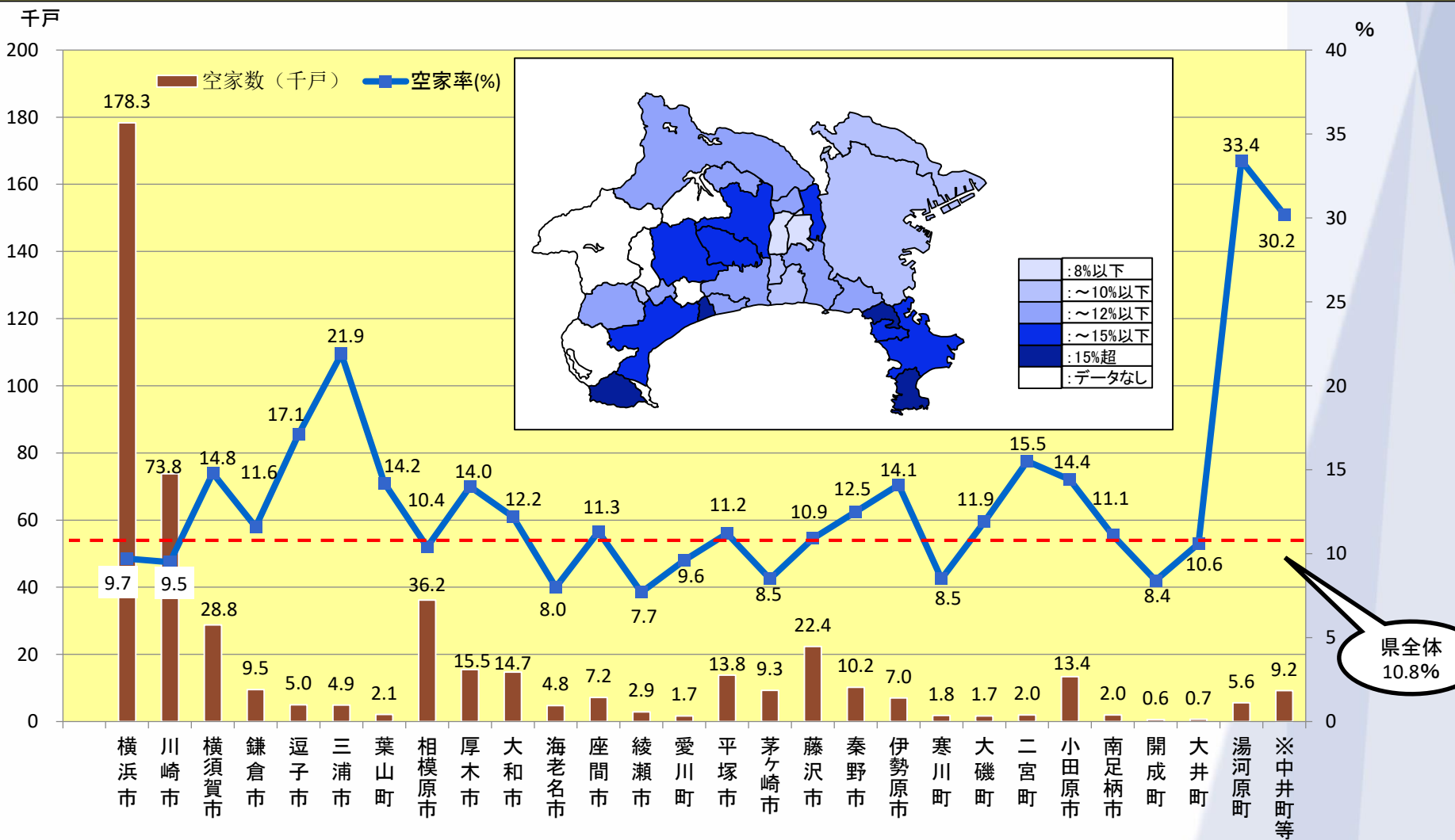
◆神奈川県各市町村別空き家数と空き家率（H30）



神奈川県

KANAGAWA

○三浦半島、県西部の相模湾沿岸地域と丹沢の麓地域で空き家率の高さが目立つ



※中井町等(中井町、松田町、山北町、箱根町、真鶴町及び清川村)は個別データがないため県合計からの差し引きにより求めている。

○空き家数の内訳（H30住宅・土地統計調査）

空き家予備軍

75歳以上の単身世帯が住む持ち家
約17万戸

利活用

売買、賃貸、リフォーム等

空き家 約48万戸

適切な管理

適切に管理されている空き家
約40万戸

放置空き家

適切に管理されていない空き家
(腐朽又は破損があるもの)
約8万戸

解体処分

解体・除却、更地化、跡地の利活用等

○空き家対策の方向性

空き家化の予防

利活用の促進

適切な管理の促進